

◇ 令和5年度応援奨学生アンケート結果

NO	学部研究科	奨学期間に得た成果	今後の「応援奨学生」制度への要望・アイデア等をお聞かせください。	後輩給付生へのアドバイスをお聞かせください。	応援奨学金の給付を受けたことについての感想をお聞かせください。（寄附者へのメッセージ等）
1	教育学部	奨学金をいただいたことで、卒業研究やインターンに集中して取り組むことができました。特に卒業研究では、濃尾地震について研究したが、明治期の新聞という歴史的な史料を多く用いて研究をすることができた。遠方の図書館でしか手に入らない資料や購入する必要がある書籍を入手し、資料館なども活用した。より正確な考察を行うことができたのは奨学金のおかげである。地域の災害を歴史的に先行研究とは異なる方法で、分析や考察を行うことができたのではないと思う。	優秀な学生にもっと広く知られてほしいです。1年生のうちから制度のことを知っていれば、奨学金に応募する学生も増えるのではないかと思います。	大学生活には大変なこともあるかと思いますが、応援してくれる人はたくさんいます。しかし、努力を継続するということが自分にとって大切だと思います。大学生活でこれを頑張ったと胸を張って言えるように過ごしてください。悔いのないように！！	奨学金をいただいたおかげで、学業に専念することができました。4月からは岐阜県で就職となりますが、私も地元や大学に貢献できる人材になれるよう努力していきます。ありがとうございました。
2	教育学部	奨学金をいただいたことにより、山形県や高知県の特別支援学校や横浜国立大学で行われた学会に参加するなど、学びを広げることができました。特に、学会への参加と高知県の特別支援学校の参観が心に残っています。学会では、卒業論文で取り組んでいた内容を基に、ポスター発表に参加し、同じ分野を学ぶ学生や先生方から意見をいただきました。1年間かけて取り組んだ卒業論文の執筆が大変思いのこもったものになりました。高知県では、私立の特別支援学校を訪問し、真の生活に根差した教育について学ぶことができました。4月から教員として働くうえで、この参観で得たことや感じたことを大切にします。ご支援いただき、ありがとうございました。自分が支援していただいたことを忘れず、私も社会に貢献する人材になれるように、邁進してまいります。	「応援奨学生」という岐阜大学独自の奨学金について知らない人が多いのではないかと思います。私の周りには、この奨学金があったことを知らない人が一定数いました。現時点で、申込者が多い場合は当てはまらないかもしれませんが、情報が行き届いていないという現状があると私は思いました。周知して、申し込みの母数が大きくなることにより、選ばれる人の質が高くなると思います。奨学金は、学業に向き合える時間を増やすことや、経済的理由であきらめざるを得ない研修などへの参加に役立ちます。履修登録の画面に表示させたり、tactのアナウンスに流したりと、より多くの人の目に入るようにすると良いのではないのでしょうか。私の場合は、指導教員から教えていただきました。直属の先生に背中を押してもらえることも大きいかもしれません。	お金をいただいて学業に励むことができるということは、本当に名誉なことだと思います。期待されているということだからです。その期待をモチベーションにして、これからも頑張ってください。私も、奨学金をいただいた一人として、頑張りたいと思います。	3万円をアルバイトで稼ごうとすると、月に約30時間働く必要があります。年間360時間です。そのため、私は必要な予習復習の時間に加え、1日1時間勉強時間を確保するようにしました。取り組んだことは、語学です。外国にルーツのある方が多く暮らしている可児市で育った私は、母国語で会話ができることの安心感が日本で暮らすうえで大切だと感じていました。大学生活の目標の一つは、言語を勉強することでしたので、毎日1時間、英語や中国語、手話を勉強する時間を設けました。わずかながらできることが広がって、自信ができました。奨学金は、金銭的な余裕と時間の余裕を与えてくれました。県外の学校や学会に参加できたこと、毎日自分がしたい勉強に取り組めたこと、これらは奨学金のおかげです。本当にありがとうございます。
3	地域科学部	奨学期間中は大学院進学に向けて、自分の研究テーマである博物館の体験型展示の研究に力を入れました。研究に関わる書籍文献の読み込み、博物館訪問、ゼミの活動を通じた研究内容の発表、卒論執筆等、確実に自身の糧となる活動を行うことができたと感じています。そして先日、國學院大學大学院文学研究科博士前期課程に合格することができました。今後は岐阜大学で得た幅広い分野の知識を活かし、さらに研究に取り組んでいきます。	より多くの学生に知ってもらうためにも、「応援奨学生」制度の存在を周知させていくことが重要だと考えます。	この「応援奨学生」制度は岐阜大学に関わる大勢の寄附者の方々の存在によって成り立つものです。使い道をどうするかは給付生次第ですが、寄附者の方々が報告を受けて「寄附をしてよかった」と思えるような使い方ができることが望ましいと思います。大学生活だけでなく、大学卒業後、就職するにせよ院進するにせよ、新しい道に進むにもお金がかかります。ですから、ぜひ現状の生活や、今後進む道に活かせるような使い方を、そして後から振り返った際に、自分自身も楽しい活動ができたことと誇れるような奨学期間を過ごすことができれば最高だと思います。	この奨学金のおかげで奨学期間中、アルバイトを増やすことなく研究に集中することができました。奨学金は大学院進学にかかる費用に使わせていただきます。本当にありがとうございました。
4	医学部	応援奨学生に選出いただけたことが自分の自信につながり、就職試験の面接では学業に対する姿勢を自分の強みとしたところ、面接担当者よりお褒めの言葉をいただきました。また、いただいた奨学金を国家試験の参考書や模擬試験の費用に充てることができ、まもなく行われる看護師国家試験に充分備えることができている。また、経済的にも精神的にも余裕ができ、楽しく勉強することができている。	応援奨学生に選出されると、これまでの努力を認めてもらえたような気持ちになり、今後の学業のモチベーションアップにもなった。私以外にも同じような気持ちになった学生もいると思うので、ぜひこの制度は継続してほしい。	正直、毎月3万円を1年間もいただけるのはとても大きいです。私は学業費以外は貯金に回すことで、アルバイトに追われぬ精神的な余裕もでき、勉強を楽しむことができました。このような経験ができたのは、寄付していただけるOB・OGの方々や支えてくれる方々のおかげです。勉強ができることに感謝して今後も頑張っていきたいと思います。	まずは応援奨学生に選出いただけたこと、誠にありがとうございました。そして、寄附していただいている方々にも心から感謝申し上げます。これまでの学業への取り組みを認めてもらえたような気持ちになり、経済的にも精神的にも救われました。この制度のおかげで心にも余裕ができ、楽しく勉学に励むことができました。勉強できることに常に感謝し、今後も精進してまいります。
5	医学部	奨学期間であった今年度は、昨年度までと同様に日々の勉学や実習に臨み、医師として必要な知識や技能の学習に励むことは勿論、就職活動や国家試験に向けての準備なども行い、医師になるという自覚が日々強くなった1年間でした。実習では、5年生時のポリクリで興味を持った科を重点的に回らせていただき、最先端の治療を見学したり専門の先生に直接ご指導いただいたことでより興味と理解が深まりました。国家試験の勉強も、医師になって人の役に立ちたいという思い、家族や友人の支えにより乗り切ることができました。	今回応援奨学生に選んでいただき、ご支援をいただけたことで、引き続き学業や課外活動などに真剣に取り組む、選んでいただいた立場に恥じない学生でいたいという気持ちが強く芽生え、日々の大学生活への原動力となりました。可能であれば今後も制度が続いていっていただけたら良いなと思っております。	応援奨学生として選んでいただき、ご支援をいただけるということに深く感謝し、謙虚な姿勢で日々の学業や課外活動などに向き合っていってほしいと思います。	この度は応援奨学生としてご支援をいただき、本当にありがとうございました。奨学金の給付をいただいたことで、実際に勉学に必要な教材や興味分野の書籍を購入し日々の学業に役立てることができただけでなく、選んでいただいた立場に恥じないように日々努力しようという原動力となりました。今後も感謝を忘れず、人や地域の役に立てる医師になって恩返しできるように努力していきます。本当にありがとうございました。

◇ 令和5年度応援奨学生アンケート結果

NO	学部研究科	奨学期間に得た成果	今後の「応援奨学生」制度への要望・アイデア等をお聞かせください。	後輩給付生へのアドバイスをお聞かせください。	応援奨学金の給付を受けたことについての感想をお聞かせください。（寄附者へのメッセージ等）
6	工学部	愛知県大学対抗ハッカソンにて、作業のコツが見える化するAI×IoTシステムを開発し、最優秀賞、東朋テクノロジー賞(企業賞)、日本ガイン賞(企業賞)を受賞。 計測自動制御学会システムインテグレーション部門公演会に参加(共著1件)。	こういった良い制度があることを知らない人が多いのもっと広めてほしいと思います。	いただくことができたことに感謝してその使い道を見誤らないようにして自分のための時間をつくっていくと良いと思います。	奨学金の給付によって自分がやりたいことであったり勉学への時間が大幅に増加しました。これによって給付以前と比べて確実に生活が充実した物になりました。本当にありがとうございました。
7	工学部	奨学期間を通じて、WEBサイトに利用されるプログラミング言語や周辺のフレームワークを学習した。この学習によって得られた知識を活用し、友人とチームを組んで「技育CAMPマンスリーハッカソン」、「技育CAMPアドバンス」というプログラミング作品を競う大会に参加した。そこで「AIずんだWEB」という作品を制作し最優秀賞および大賞を受賞することができた。また、応用情報技術者という情報処理の国家資格の勉強に取り組み、試験に合格することができた。	自分の周りでは応援奨学生制度を知らない学生が多いため、より周知させたほうがよいと思われる。	自分が興味のある専門分野の勉強のために応援奨学金を使うとよいと思われる。	アルバイトをする時間を減らすことができ、その分専門分野の勉強に時間を当てることができた。
8	工学部	私が応援奨学生としての期間で得た成果は主に2つあります。1つ目は大学院への合格です。以前は生活のための資金を得るため、多くの時間バイトをする必要がありましたが、奨学金を頂けたことにより余裕を持って勉強に集中することができました。そのおかげで第一志望の研究室に合格することができました。2つ目は卒業研究です。ゆとりをもって研究生生活を送ることができ、納得の行く研究成果を残すことができました。	応援奨学生の制度を広める。 私は大学3年生の時期に応援奨学生の存在を知り、4年生の期間に支援をいただきました。1.2年の時に知っていればより早く応募していたと思います。また、はじめに応援奨学生について知った際には、自分の能力では採用されまいだろうと思っていましたが、実際に選考を受けてみると採用していただけました。私のように、応募する前に不安に思う人たちは少なくないと思うので、どのような学生が採用されているのかなどの情報を広めることは有意義だと思います。	給付をいただけることは決して当たり前のことではないです。感謝の気持ちを忘れず、やるべきことに対して真摯に向き合ってください。また、このような制度は先人の方々の温かい気持ちによって成り立っているため、今後自分自身が後人のことを思いやるという気持ちを大事にしましょう。	このような支援をいただけて心から感謝しています。本当にありがとうございます。奨学金をいただけたことで、生活を工面するためのアルバイトの時間を減らすことができ、勉強・研究に打ち込むことができました。将来的な不安も以前に比べ少なくなり、前向きな未来を作っていく自信を抱いています。この制度がなかったらここまで来られていないと確信するほど、私の学生生活においてとても大きなものでした。改めて、寄附者の皆様の温かいご支援に感謝いたします。
9	工学部	特に勉学については、アルバイト等に費やす時間が少なくなったので費す時間が増えて、昨年よりも自分が納得の行くまで突き詰めて学ぶことができましたので、成績もほとんどで最も高い評価をいただくことができました。また、このことによってテスト勉強の際にも事前に計画を立ててじっくりと余裕を持って行うことができました。加えて、読書といった自分のやりたいことに費やす時間が増えたことによって心身ともに余裕ができ、教養を広げられたと思います。	現状学部や大学院の1年生は応募できない制度になってしまっているため、学部は判断材料が少なく難しいかもしれないが、大学院は予約採用のような制度もあって良いと思う。 また、1年生は時期をずらして別枠として募集・選考を行っても良いと思う。	毎月3万というのは、大学生にとってかなりありがたい金額だと思います。この支援を十分に活かして、大学生生活をより良い物に出来ると思います。	この度は応援奨学生としてご支援いただきありがとうございました。これまでは専門書の購入など、金銭面で少し躊躇することがありましたが、以前より気兼ねなく購入することができ、自主的な学習を進めることができました。ありがとうございました。
10	工学部	奨学金をいただくことで、アルバイトに割く時間を減らすことができたので、勉強に使う時間を増やすことができました。日々の課題やテスト勉強に集中できたので、3年前期では高いGPAを獲得することができました。また、長期休暇中は、1週間以上かかるインターンシップに参加する時間ができたため、将来を考える上で、重要な機会を得ることができました。	もっと広報で、応援奨学生について広めるのはいかがでしょうか。 私のまわりでは知らない学生が多かったです。多くの学生が認識すれば、勉学のモチベーション向上に繋がるかもしれないと思いました。	奨学金をいただいで生まれたお金や時間を有効に使うことが大切だと思います。	奨学金をいただくことで、アルバイトに割いていた時間を、代わりに勉強や長期休暇中のインターンに割くことができました。本当に感謝しております。
11	応用生物科学部	2023年度は、いただいた奨学金のおかげで、一人暮らしを始めることができました。今まで通学に往復4時間かかったため、その時間を有効に活用しようと思っていました。部屋にいたことができた時間が増えたため、テスト前、特に後期は今までよりも多くの勉強時間を確保することができ、試験勉強に全力を傾けることができました。他にも、この時間を有意義に使うと思いTOEIC、韓国語、スパイスハーブ検定など新しい勉強を始めました。TOEICについては昨年の4月の結果を超え目標を達成できるように、4月の試験に向けて勉強中です。スパイスハーブ検定についてはまだ試験を受けれていないので成果として現れてはいませんが、10月に受験する予定です。	なぜ奨学金を必要とするのか、何を成し遂げたいと考えているかについて応援奨学生応募者にプレゼンを行ってもらい、そのプレゼンをもとに応援奨学生を決める。	奨学金を無駄にするのも上手く使うのも自分次第なので、いただいた奨学金を活かすにはどうすればよいか、よく考えてから使うと良いと思います。多くの時間を自由に使えるときは今しかないもので、やりたいと感じたことはすべて挑戦してみるべきです。	この度は私を応援奨学生に選んでいただきありがとうございました。給付型の奨学金制度のおかげで、やりたいことを思い切って始めることができました。また、奨学金をいただけただけでなく、自分のやりたいことを応援してくださる人がいるという自信にも繋がり、原動力となりました。

◇ 令和5年度応援奨学生アンケート結果

NO	学部研究科	奨学期間に得た成果	今後の「応援奨学生」制度への要望・アイデア等をお聞かせください。	後輩給付生へのアドバイスをお聞かせください。	応援奨学金の給付を受けたことについての感想をお聞かせください。(寄附者へのメッセージ等)
12	応用生物科学部	部活動では、第72回東海地区国立大学対抗陸上競技大会で最優秀選手賞(女子の部)を獲得しました。また、第6回野生動物保全繁殖研究会大会でのポスター発表を通じた同研究分野に携わる方々との意見交換や、共同研究施設への訪問、その他学会への参加によって知見を深め、充実した卒業研究を行うことができました。さらに一年生の頃から関心のあった、国家資格である家畜人工授精師(牛)を取得しました。	とても素敵な制度であり、利用する学生は一層充実した大学生活を送ることができるため、より広く周知し、新入生がこの「応援奨学生」制度を知る機会を多く与えていただきたいと考えます。新入生説明会などで説明いただけると嬉しいです。	いただいた奨学金によって金銭面に余裕が生まれることで、心の余裕を持つことができると思います。ぜひ周りを見渡し、少しでも興味・関心を持つ出来事を見つけ、思い切って挑戦してみてください。きっと他では得られない、貴重な経験ができると思います。	大学生活最後の一年間は、応援奨学金のおかげで勉学にも部活動にも打ち込むことができました。部活動では、東海地区の大会で最優秀選手賞に選出されました。また勉学面では、非常に充実した卒業研究を行うことができました。奨学金を研究会や学会、施設訪問の参加費用として利用させていただくことで、共同研究者の方をはじめ、全国の関係者の方々と意見を交える機会を得ました。自分たちの研究が社会に貢献する様子を目の当たりにすることで、卒業研究に対するモチベーションがぐんと上がり、大学院への進学を強く希望するようになりました。卒業研究ではよい成績を修めることができ、現在は博士課程への進学も視野に入れています。研究会や学会へ参加できなければ、ここまで自身の研究に対し真摯に向き合うことはなかったと思います。ご寄付をくださった皆様、本当にありがとうございました。
13	教育学研究科	大学院での開発実践研究として、「中学生を対象とした『音』を題材とする教科横断型探究カリキュラムの開発」を行った。研究成果は開発実践報告としてまとめ、岐阜大学教育学研究科に提出したと共に、教育システム情報学会の学生研究発表会にてその一部を発表し、優秀発表賞を受賞した。	特にありません	応援奨学生という自覚を持ち、精一杯努力して有意義に活用してください。	学部と大学院で2度、応援奨学生として給付金をいただきました。皆様のおかげで、学業に専念することができました。岐阜大学での6年間で得た学びを、社会のために還元していきたいと思っています。ありがとうございました。
14	地域科学研究科	一年生時に単位をすべて修めましたが、二年生時にやはり選択して【社会政策】を勉強して、詳しく日本の社会政策を理解して、私は留学生として日本で勉強する時期にもっとよく日本の社会政策を理解して自分の卒業論文に対してとても大きい助けがある。9月に京都に行って「環境工学」の学会に参加した。学会で多くの先輩から環境工学方面の研究を聞き、自分の卒論にとっても役に立った。	将来、多くの学生がこの奨学金を受けられることを願っている。	奨学金に活用する。	二年生の時期にこの奨学金をもらえることに感謝している。二年生の時期は主な任務は自分の卒業論文を書くことですので、アルバイトに行く時間がない。この奨学金をもらえることができて光栄です。自分の二年生の時期の生活が少し楽になる。
15	医学系研究科	本期間中、私は研究活動に専念することができ、本研究素材である、植物発酵食品のもつ機能性の解明に励んだ。実験の成果は通常、学会発表、論文の形で評価されるが、実験素材の特許出願上の問題もあり、学会発表、論文執筆等できなかった。しかし、データを蓄積するには十分な時間を確保することができ、近年、我が国の掲げる課題である「生活習慣病」特に、糖尿病に対する一次予防において期待できる結果を得た。	成績優秀者に選ばれることは、日々の学業及び研究に対するモチベーションとなり得る。規定に準じる。	奨学生としての日々の取り組みが問われる。	吉田学長をはじめ、岐阜大学基金学生支援事業に携わられた関係者の方々に深謝いたします。
16	自然科学技術研究科	・農業農村工学会にて発表(2023.8)浅野珠里, 小島悠揮, 加藤千尋, 鈴木拓実, 神谷浩二:土壌環境の将来予測における土壌水理・熱特性推定法の検討, 第72回農業農村工学会大会講演会, 4-11, 松山, 2023年8月。(口頭発表, 査読なし) ・報文執筆(2023.10)浅野珠里, 大塚健太郎, 小島悠揮, 乃田啓吾:農業農村地域活性化のための位置情報ゲーム「農村GO」の開発, 農業農村工学会誌91(10), pp.23-27, 2023.(査読あり) ・研究費獲得①農業農村情報研究部会「農業農村地域における情報利活用の未来Ⅳ」採択(交付金額20万円), 2023年12月. ・研究費獲得②農業農村工学会「農業農村整備技術に関する博士課程学生への調査研究支援事業」採用(支援金額年額300万円)2024年4月から。	応援奨学生について知らない人が多いので、学期ごとのガイダンス等でPRしたらいいかなと思いました。また、採用段階ではどのような人がこれまで給付を受けていたのか気になりました。	応援奨学生制度は岐阜大学基金で成り立っていることを十分に理解し、感謝の気持ちを忘れてはいけないと思います。	研究に専念するために下宿を始めたものの、実家からの生活費の仕送りがなくアルバイトを増やす必要がありました。ですが応援奨学生の給付でこれまで通り、週に1回のアルバイトで生活していくことができました。1年間思い切り研究に専念でき、学会発表、報文の執筆、そして研究費獲得ができました。また、この1年で多くの研究成果が得られました。これらを広く一般に公開するために、現在は報告した成果に加え、論文2本、報文1報の執筆に取り組んでおります。
17	自然科学技術研究科	医用画像情報学会令和5年度秋季(第197回)大会にて、学会発表を行いました。夏休みに行われる航空宇宙実習にTA(ティーチングアシスタント)として参加しました。この実習は、近隣の航空産業の企業がもつ課題について実習生が取り組む内容で、自分のもつデータ分析やプログラミングの知識を持って、実習生への助言やサポートを行いました。	とても素晴らしい制度だと思うが、この制度を知らない人が周りでも多かったのが、ガイダンス等多くの人が参加するときに周知するとよいと思う。	奨学生としての自覚を忘れず、頂いた奨学金を活用して、勉学や研究など充実した学生生活を送ってください。	奨学生として選んでいただけたことで、勉強や研究活動に集中することができました。寄附してくださった皆様に深く感謝申し上げ、卒業後は自分も本基金に貢献できるよう努めてまいります。
18	自然科学技術研究科	研究活動に励み、筆頭著者で投稿論文を書くことができた。4つの学会で発表することができた。	修士の学生はもう少し金額が上がるとありがたいです。就活や学会で交通費がかかるためです。	ぜひチャレンジすると思います。私は、この奨学金でバイトをやめて研究活動に励むことができました。	1年間ありがとうございました。奨学金のおかげで研究活動に励むことができました。

◇ 令和5年度応援奨学生アンケート結果

NO	学部研究科	奨学期間に得た成果	今後の「応援奨学生」制度への要望・アイデア等をお聞かせください。	後輩給付生へのアドバイスをお聞かせください。	応援奨学金の給付を受けたことについての感想をお聞かせください。（寄附者へのメッセージ等）
19	自然科学技術研究科	奨学金の支援を受け、卒業のための研究テーマに加えて別のテーマで研究を進め、論文を完成させました。さらに、タイで1ヶ月の研究留学を行い、貴重な経験を積みました。国際学会(ICEF)においても研究結果を発表し、多くの議論を交わすことができました。これらの機会により、世界の研究者との交流を通して広い視野を養いながら自身の能力を最大限に発揮し、研究の幅を広げることができました。	先輩給付生が得た時間や奨学金をどのように使っていたのか、後輩給付生へ伝えることができれば、この制度を効果的に使える新たなアイデアが広がると考えました。	私がこの制度で得たものは「時間」だと考えます。アルバイトの時間を少なくして、研究に費やすことができました。皆さんもぜひ、時間を大切に使い、ご自身の研究をより豊かなものにしてください。	この度は応援奨学生に採択していただき、ありがとうございました。この制度のおかげで私は、研究にたくさんのエネルギーを注ぐことができ、悔いのない大学院生活を送ることができました。得た経験や知識を活かして、これからは社会へ貢献します。
20	医学系研究科	本研究は慢性期心疾患患者を対象に、テレメトリー式生体信号測定装置アイエイド2を用いて、非監視下の心拍数や歩数等を把握し、その結果を基に医療者から研究対象者に非監視下の運動指導を行うことにより、運動耐容能に与える影響を検討することを主目的とします。奨学期間中に、研究計画書が作成され、多くの多施設の協力機関に参加登録をして頂き、目標とする症例数に到達されようとしています。	給付金を受けれる学生の人数をより増やして頂きたい。	給付を頂けることは大変ありがたいことです。有意義に利用してください。	私は、学部のとときの奨学金を返済しながら、仕事をしながら大学院生として研究に勤しんでおります。そのため、給付金の給付を受けたことで、家計のサポートとなり、研究だけにより専念することができました。今までは、学業に専念したくても、そのようなことは出来ませんでした。そのため、今回はこのような機会を与えてくださったことに大変感謝しております。
21	工学研究科	During my period of scholarship, I published a journal paper on Remote Sensing and succeed to attend an international conference in Malaysia. In my paper, I described the system that I developed and deployed with the help of my professor and lab-mates. It is the one of the most advanced system in this field. Using this system, we achieved to record many flashes and characterize some features of them. And in the international, I got acquainted with many masters in this field and learnt a lot from them. I also made an oral presentation in the conference and got the best paper award. Besides these, I went to business trip a lot and helped with setting up and maintenance of the systems running by my laboratory. Much appreciation for cheering scholarship so that I can focus more on my research. 奨学金期間中、私はリモートセンシングに関する学術論文を発表し、マレーシアで開催された国際会議に出席することができました。論文では、教授や研究室の仲間の助けを借りて開発し、導入したシステムについて述べました。これは、この分野で最も先進的なシステムのひとつです。このシステムを使って、多くの閃光を記録し、その特徴を明らかにすることができた。また、国際会議では、この分野の多くの巨匠と知り合い、彼らから多くのことを学んだ。学会では口頭発表も行い、最優秀論文賞もいただきました。その他、出張も多く、研究室のシステムの立ち上げやメンテナンスも手伝いました。私が研究に集中できるように奨学金を支援してくれたことに感謝します。	It is really a great scholarship for student. And if it can provide a chance for them who receive this scholarship to get acquainted with each other, that will be perfect. 学生にとっては本当に素晴らしい奨学金です。そして、この奨学金を受けた者同士が知り合うきっかけになれば、申し分ない。	Please make full use of this scholarship and focus more on your research and get more achievement. この奨学金をフルに活用し、より研究に集中し、より多くの成果を得てください。	It is really an honor for me to get this cheering scholarship. Without it, I would not have that time to focus on my research. Much appreciation! この応援奨学金をいただけたことは本当に光栄です。この奨学金がなければ、研究に集中する時間はなかったでしょう。ありがとうございました！
22	共同獣医学研究科	私は、狂犬病ウイルスに関する研究を行っている。今年度に、研究活動を通じて得られた成果を以下に記載する。 ・2023年度東海国立大学機構融合フロンティア次世代リサーチャー事業に採択された。 ・令和6年度日本学術振興会特別研究員DC2に採択された。 ・新規狂犬病生ワクチン株の樹立に関する論文がVaccine誌に受理された。 ・第70回日本ウイルス学会学術集會にてポスター発表を行った。	素晴らしい制度なので、後進のために、今後も継続していただきたいです。	支援して下さった方々への感謝を忘れず、自身の目的とするものを目指して頑張ってください。	ご支援を受けられたことで、金銭面での生活の負担が大きく軽減し、これまで以上に研究活動に専念できるようになりました。これは、ひとえに、基金へご協力して下さった企業様や個人の方々のおかげであると考えております。ご支援いただき誠にありがとうございました。
23	連合農学研究科	奨学期間中に国内学会で2回、国際学会で1回の計3回研究発表をすることが出来た。さらにこの奨学期間に得た研究成果を基に学会発表および論文を執筆する予定であり、自分の研究分野への貢献が期待できる。これは奨学金を頂いたことによってより一層研究に専念することが多くの成果を挙げることに繋がったと感じている。	研究成果を発表していくのも学問への貢献として重要なことだと思うので、論文作成や学会発表に掛かる経費の補助もあと非常にありがたいです。	寄附金の意味を理解し、精一杯学業に専念してください。	応援奨学生として採用して頂き、誠にありがとうございました。この寄附金のおかげで多くの成果を挙げることができました。ここで挙げた成果は今後の自分のキャリアにも活かせる非常に意味のあるものでしたので、大変感謝しております。ありがとうございました。
24	連合創薬研究科	Melphalan febrile neutropenia risk factors. Yasuda M, Tachi T, Osawa T, Fujii S, Inoue S, Watanabe H, Makino T, Nagaya K, Morita M, Tanaka K, Tanaka Y, Aoyama S, Teramachi H, Kasahara S, Mizui T. Jpn J Cancer Chemother, 50, 707-711, 2023.	応援奨学生はとても素晴らしい取り組みだと思います。私にはこれといった業績はありませんが、素晴らしい業績に対する応援制度は、学生にとってとても励みになることで是非継続して欲しいと思います。	日頃からの積み重ねが大事だと思います。	寄付をいただいた皆様のおかげでこのように研究を続けることができていると、本当にありがとうございます。これからも感謝の気持ちを大切に仕事と研究を続けていきたいと思っています。